

取組の背景・目的

- 中高生の食育活動
- 一人で若しくは友達と調理をして食べる場所の提供

施設の大規模改修工事が行われ令和6年2月にリニューアルオープンした。設計時に「本格的な料理ができるキッチンが欲しい!!」と中高生から要望もあり、『クッキングスタジオ』が設置されたが、お湯を沸かしカップ麺を作る、コンビニ弁当をレンジで温める等に留まり、中高生が調理をして食べるという活動にはなかなか繋がらなかった。

『クッキングスタジオ』を気軽に便利に利用し、一人で若しくは友だちと調理をして食べる楽しさを多くの中高生に知ってもらい、中高生の食育活動に繋がることを目的として一年を通して取り組んだ。

取組の概要

- ◆「夏休み若者食堂」 6日実施 合計73名参加
貧困対策を兼ね、以前より実施していた「若者食堂」を再開。職員が昼食を作り中高生に提供しながら『クッキングスタジオ』利用について紹介した。
- ◆「お菓子作り教室」実施 11名参加
講師を招き、「パンケーキづくり教室」を実施し中高生の参加があった。他中高生から「次回はいつやるのか?」「クッキングスタジオはどうやって使うのか?」等の問合せがあった。
- ◆『クッキングスタジオ』の使い方マニュアルの作成と講習会の実施
食中毒や火傷等のケガを予防し、中高生が安全に『クッキングスタジオ』を利用するために、マニュアルを作成し、講習を受講後に利用できるルール作りを行った。
- ◆SNS等でPR実施
『クッキングスタジオ』について利用の仕方を掲示したり、InstagramやXでPRを行った。



工夫点・留意点

新設したばかりの『クッキングスタジオ』を中高生がどのように利用できるのか、『若者食堂』や『お菓子作り教室』などイベントを実施し、中高生が食への興味・関心を持つよう働きかけた。



取組の効果

「お菓子作り教室」に参加した高校生が『クッキングスタジオ』を利用し、自分たちで工夫し協力しながら調理をし、みんなで食べると経験を味わっていた。その後も高校生から問合せや利用が増え始め、季節のイベントに向け早い時期からの問合せもあり、高校生の中で徐々に『クッキングスタジオ』利用が浸透し始めている。



課題・今後の展開

『クッキングスタジオ』の利用は高校生に留まっているため、中学生の利用にも繋がるよう、ニーズに合わせお菓子作りや料理教室を開催し、食に興味・関心を持ってもらう。また、自立に繋がるような自炊体験も大切と思われるため、そのような機会の提供も検討し中高生の食育活動プログラムを充実させていく。